

- 問1 資源の有効利用を促進するために、製品の設計や廃棄に関するルールを定めた日本の法律を何という？
- 問2 地球温暖化の主な原因であり、その排出量を世界全体で実質ゼロにすることが目指されている物質を何という？
- 問3 地球温暖化を防ぐために、世界中の国々が目標達成を協力してめざす国際的なルールを何という？
- 問4 京都議定書に盛り込まれた、国同士で二酸化炭素などの削減量を売り買いできる仕組みを何という？
- 問5 廃棄物の発生を抑え、資源を無駄なく利用することで環境負荷を減らす社会の仕組みを何という？
- 問6 1992年の地球サミットで採択された、生物多様性を守るための国際的な約束事を何という？
- 問7 化石燃料の使用を減らし、温室効果ガスの排出を実質ゼロにしようとする社会を何という？
- 問8 二酸化炭素など、地球温暖化の主な原因となる物質の総称を何という？
- 問9 地球温暖化を防ぐために、温室効果ガスの排出削減を定めた国際的な取り決めを何という？
- 問10 2015年の国連サミットで採択された、世界が抱える課題を解決し持続可能な社会を実現するための17の指標を何という？
- 問11 温室効果ガスの代表例であり、化石燃料を燃やすことで大量に発生する物質を何という？
- 問12 地球温暖化を防ぐために、先進国と途上国が協力して温室効果ガスの削減を目指す国際的な取り決めを何という？
- 問13 地球温暖化を防ぐために削減が求められている、二酸化炭素などの気体を何という？
- 問14 ゴミの発生抑制・再使用・再資源化の三つの取り組みをまとめて何という？
- 問15 パリ協定で、世界の平均気温の上昇を抑えるための努力目標として掲げられている気温差を何という？
- 問16 環境保全と経済発展の両立を目指し、1992年にブラジルで開かれた会議を何という？
- 問17 温室効果ガスの排出量と吸収量をプラスマイナスゼロにする社会のあり方を何という？
- 問18 消費者が製品を購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないものを選ぶとする活動を何という？
- 問19 再生可能エネルギーで発電された電気を、電力会社が一定の価格で一定期間買い取るとを国が義務付けた制度を何という？
- 問20 3Rのうち、ごみの発生そのものを減らす取り組みを何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>循環型社会形成推進基本法</b>	資源の有効利用を促進し、環境負荷を減らすことを目的とした法律です。製品の設計、製造、使用、廃棄の各段階で、資源の再資源化や廃棄物の減量化を具体的に進める枠組みを定めています。
問2	<b>答え</b> <b>温室効果ガス</b>	二酸化炭素やメタンなどが代表的で、太陽からの熱を地球に閉じ込める役割を持ちます。しかし、濃度が高まりすぎると地球全体の平均気温を押し上げ、気候変動を引き起こすため、世界中で排出量を抑える努力が求められています。
問3	<b>答え</b> <b>パリ協定</b>	パリ協定は、温暖化防止のための国際協力の柱です。最大の特徴は、すべての国が責任を持って削減目標を設定し、国際的な監視のもとでその達成を報告する点にあります。
問4	<b>答え</b> <b>排出量取引</b>	削減目標を上回って達成した国は、余った「排出枠」を他の国に売ることができます。逆に目標達成が困難な国は、この枠を購入することで調整できます。これにより、地球全体での排出削減を経済的に進めることが可能になりました。
問5	<b>答え</b> <b>循環型社会</b>	循環型社会とは、一度使った製品をゴミとして捨てるのではなく、資源として回収・再生することで、天然資源の消費を抑えながら経済活動を行う社会です。「循環型社会形成推進基本法」などの法律に基づき、国や企業、家庭が協力してゴミの排出抑制に取り組んでいます。
問6	<b>答え</b> <b>生物多様性条約</b>	この条約は、生物の多様性を守ること、生物資源を持続可能に利用すること、遺伝資源の利用から生じる利益を公平に分かち合うことの3つを柱としています。各国はこれに基づき、国家戦略を策定して保全に取り組んでいます。
問7	<b>答え</b> <b>脱炭素</b>	脱炭素とは、温室効果ガスの排出を実質的にゼロにする取り組みのことです。これには排出を抑えるだけでなく、森林の育成などで二酸化炭素を吸収し、差し引きゼロを目指すカーボンニュートラルの概念が含まれます。
問8	<b>答え</b> <b>温室効果ガス</b>	主な物質には二酸化炭素 (CO2) やメタン、フロンなどがあります。これらが太陽からの熱を地表に留めてしまうため、地球全体の平均気温が上昇する「温室効果」を引き起こします。
問9	<b>答え</b> <b>パリ協定</b>	パリ協定は、先進国と途上国の区別をなくし、すべての国が共通の目標に向けて協力するという新しい形を打ち出しました。参加国は自国の削減目標を5年ごとに提出し、その達成状況を報告することが義務付けられています。
問10	<b>答え</b> <b>17の目標</b>	この17の目標は、2030年までの達成を目指す「持続可能な開発目標 (SDGs)」の根幹となるものです。それぞれに具体的な達成基準が設けられており、誰一人取り残さないことを原則としています。
問11	<b>答え</b> <b>二酸化炭素</b>	二酸化炭素は温室効果ガスの中で最も排出量が多く、温暖化への影響が非常に大きいです。地表から宇宙へ逃げようとする熱を吸収し、温められた空気が再び地表を熱くすることで、気温が上昇し続けています。
問12	<b>答え</b> <b>パリ協定</b>	気候変動対策として、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比較して2度未満、できれば1.5度に抑えることを目標としています。全ての参加国が削減目標を作成・提出することが義務付けられました。
問13	<b>答え</b> <b>温室効果ガス</b>	温室効果ガスには、二酸化炭素のほか、メタンやフロンガスなどがあります。これらは地表から放出される熱を吸収し、再び地表に向けて放出することで地球を温める役割を持っています。適度な量であれば地球を生物が住みやすい気温に保ててくれますが、過剰になると温暖化を招きます。
問14	<b>答え</b> <b>3R</b>	3Rは「Reduce (リデュース：発生抑制)」「Reuse (リユース：再使用)」「Recycle (リサイクル：再資源化)」の頭文字をとったものです。まずはゴミを出さない、次に物を大切に使う、最後に資源として活用するという優先順位で取り組むことが大切とされています。
問15	<b>答え</b> <b>1.5度</b>	パリ協定では、産業革命前と比較して世界の平均気温の上昇を「2度より十分低く抑える」ことを目指し、さらに「1.5度に抑える」ことを努力目標としました。この0.5度の差が、サンゴ礁の減少や海面上昇の被害を大きく分けるため、非常に重要な境界線とされています。
問16	<b>答え</b> <b>地球サミット</b>	正式名称は「国連環境開発会議」です。この会議では「持続可能な開発」という考え方が世界的に共有され、その後の環境保護活動の指針となる「アジェンダ21」などが採択されました。
問17	<b>答え</b> <b>脱炭素社会</b>	脱炭素社会 (カーボンニュートラル) は、化石燃料によるエネルギーを極力使わず、再生可能エネルギーを中心に生活を組み立てる社会です。どうしても排出される分については、植林や二酸化炭素の直接回収技術を使って相殺します。
問18	<b>答え</b> <b>グリーン購入</b>	環境に配慮した製品やサービスを購入する際、価格や機能だけでなく、環境負荷が低いかどうかを重視する活動です。例えば、再生紙を使用したノートや、省エネ性能が高い家電などを選ぶことが挙げられます。
問19	<b>答え</b> <b>固定価格買取制度</b>	太陽光や風力などの再生可能エネルギーで発電された電気を、電力会社が一定の期間・価格で買い取ることを国が定めた仕組みです。これにより、発電事業者の収入が安定するため、多くの企業や個人が太陽光発電などを導入しやすくなりました。
問20	<b>答え</b> <b>リデュース</b>	リデュース (Reduce) は「減らす」という意味で、過剰な包装を断ったり、詰め替え用製品を選んだりして、最初からゴミとなるものを出さない工夫を指します。3Rの取り組みの中で最も効果が高く、優先されるべき行動とされています。